

2020 年 11 月 25 日

各 位

会 社 名 エンシュウ株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 社長執行役員 山下 晴央
 (コード：6218 東証第1部)
 問合せ先 管理本部 副本部長 大野 裕哉
 (TEL. 053-447-2111)

執行役員の役職変更に関するお知らせ

2020 年 11 月 25 日に開催した取締役会におきまして、執行役員の役職変更を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 執行役員の役職変更(2020 年 12 月 1 日付)

氏 名	新 職	旧 職	取締役としての役割	執行役員担当業務 (2021 年 4 月 1 日付予定)
山下 晴央	代表取締役社長 社長執行役員	変更なし	最高経営責任者	技術・製造担当
勝倉 宏和	代表取締役会長 会長執行役員	代表取締役 副社長執行役員	経営戦略の企画立案	管理担当 ※1
鈴木 敦士	副社長執行役員	常務執行役員		開発・営業担当 ※2

※1：2021 年 3 月末までは、現在の管理本部長を継続

※2：2021 年 3 月末までは、現在の工作機械・レーザー事業部長を継続

2. 今次役職変更の必要性について

当社の主要な顧客である 2 輪・4 輪メーカーにおいて、まさに 100 年に 1 度の変革が進みつつある中で、当社が長期的な発展を遂げるためには、各部門が顧客ニーズの変化にしっかりと対応していくことが不可欠である。

また、開発・営業面においては、既存顧客との関係を一層強固なものとしてその変化に対応していくとともに、新たなマーケットへのアプローチを強化して顧客層の拡大を図る必要がある。

技術・製造面においても海外拠点の強化と国内拠点の柔軟な運営を進め、グループトータルでの生産性向上と技術力向上が必要である。

これらの課題をスピーディーに実行していくためには、上記 3 名のトロイカ体制により経営の強化を図るとともに、それぞれがその識見とリーダーシップを最大限に発揮して大きな改革を推進していく必要があるとの結論に至ったものである。

3. 今後の改革について

今後の改革の内容については、以下 2 点を念頭に現在検討を進めているところである。

- (1) 部品加工、加工のための工作機械製造、そして生産ラインの構築までを業務としてきた当社の強みを生かしたビジネスの展開
 工作機械関連、部品加工関連事業を統合することにより、経営資源を全社的に共有し、市場変動への柔軟な対応を実現
- (2) 現在の 2 事業部制を機能別に再編 (2021 年 4 月 1 日を予定)
 - ・開発・営業部門と技術・製造部門に再編する方向
 - ・営業・開発部門はマーケット別に組織を分化してそれぞれを強化
 - ・2 事業部に分かれている技術・製造部門を統合することにより、柔軟かつ効率的な運営を実現

以上